

7月10日（木）プログラム

09:30—12:35 長野泰一インターフェロン発見50周年記念講演（2F講堂）

～Nagano interferon memorial 50 year anniversary lecture～

Chair (Tsukasa Seya, Hokkaido U.)

09:30—09:35 Opening Remarks (Tsukasa Seya, Hokkaido U.)

09:35—09:40 Preface (Kazuko Uno, Pasteur Institute)

09:40—10:20 Tadatsugu Taniguchi (U. Tokyo, Japan)

“Three decades after the dawn of cytokine molecular biology : Roles of IRF transcription factors in the host defense”

10:20—11:00 Takashi Fujita (Kyoto U., Japan)

“Discrimination of Self and Non-self RNA and Interferon”

11:00—11:40 John Hiscott (McGill U., Canada)

“Innate immune response to virus infection:A lesson in evasion from hepatitis C virus”

11:40—12:20 Charles E. Samuel (U. of California, USA)

“INTERFERON ACTION AND DOUBLE-STRANDED RNA.”

12:20—12:30 Commentary (Yasuhiko Kojuma, Nagano’s collaborator)

12:30—12:35 Closing Remarks (Tsukasa Seya, Hokkaido U.)

12:35—13:35 昼休み

13:35—15:35 シンポジウム1（1F小講堂）／シンポジウム2（2F講堂）

シンポジウム1 「細菌認識の分子基盤」

座長：上出 利光（北海道大・遺制研）

中根 明夫（弘前大・医）

13:35—14:00 リステリア病原分子に対する宿主免疫応答 S-1-1

中根 明夫（弘前大・医・感染生体防御）

14:00—14:25 微生物由来リポタンパク質の生物活性と自然免疫系による認識 S-1-2

柴田 健一郎（北海道大・院歯・口腔分子微生物学）

14:25—14:50 感染防御免疫応答におけるオステオポンチンの機能 S-1-3

森本 純子（北海道大・遺制研・分子免疫）

14:50—15:15 赤痢菌の腸上皮バリアーへの感染戦略 S-1-4

笹川 千尋（東京大・医科研）

- 15:15-15:20 **α -galactosylceramide によるリステリア感染制御作用** P/0-001
 江本 正志、江本 善子
 群馬大・医・保健学科
- 15:20-15:25 **リステリア感染で誘導される宿主 caspase-1 活性化における listeriolysin O の関与** P/0-003
 原 英樹、土屋 晃介、河村 伊久雄、野村 卓正、光山 正雄
 京都大・院医・微生物感染症学
- 15:25-15:30 **ヒト単球由来マクロファージの分化と BCG ならびに結核菌感染における osteopontin 産生** P/0-011
 櫻田 紳策¹⁾、Chutharut Ridruechai²⁾、田中 崇裕¹⁾、赤川 清子³⁾、山崎 利雄⁴⁾、慶長 直人¹⁾
¹⁾国立国際医療センター研究所、²⁾マヒドン大、³⁾北里生命科学研、⁴⁾国立感染研

シンポジウム 2 「ウイルス認識の分子基盤」

座長：吉開 泰信（九州大・生体防御研）
 岩倉 洋一郎（東京大・医科研）

- 13:35-14:00 **麻疹ウイルス H タンパク質の X 線結晶構造解析** S-2-1
 前仲 勝実（九州大・生医研）
- 14:00-14:25 **抑制化レセプター PILR を介した単純ヘルペスウイルス感染機構** S-2-2
 荒瀬 尚（大阪大・免疫学フロンティア研究センター、微研）
- 14:25-14:50 **自然免疫による DNA 認識機構と DNA ワクチン** S-2-3
 石井 健（大阪大・微研究所、免疫学フロンティア研究センター）
- 14:50-15:15 **2', 5' -オリゴアデニル酸合成酵素の新たな機能** S-2-4
 角田 茂（東京大・医科研）
- 15:15-15:20 **IPS-1 変異体による新規自然免疫活性化メカニズムの解析および免疫調節薬への応用** P/0-026
 小檜山 康司¹⁾、武下 文彦¹⁾、石井 健²⁾、鈴木 幸一³⁾、奥田 研爾¹⁾
 横市大・医¹⁾、大阪大・医²⁾、感染研³⁾
- 15:20-15:25 **EB ウイルス non-coding RNA による Toll-like receptor 3 シグナルの活性化** P/0-035
 岩切 大、高田 賢蔵
 北海道大、遺制研
- 15:25-15:30 **インフルエンザウイルス肺炎における活性酸素シグナル応答の分子メカニズム** P/0-022
 岡本 竜哉、澤 智裕、藤井 重元、赤池 孝章
 熊本大・院・医薬

15:35-16:00 コーヒーブレイク

16:00—18:00 シンポジウム 3 (2 F 講堂) / シンポジウム 5 (1 F 小講堂)

シンポジウム 3 「免疫関連タンパク質の構造・機能連携」

座長：黒木 由夫 (札幌医大・医)

松本 美佐子 (北海道大院・医)

16:00—16:25 TLR3-TICAM-1 による dsRNA 認識とシグナル伝達 S-3-1

松本 美佐子 (北海道大院・医)

16:25—16:50 エンドトキシンの認識と応答の制御機構 S-3-2

三宅 健介 (東京大、医科研)

16:50—17:15 肺コレクチンによる炎症制御と抗菌作用 S-3-3

黒木 由夫 (札幌医大・医)

17:15—17:40 ショウジョウバエ自然免疫におけるペプチドグリカンの認識とオートファジーの誘導 S-3-4

倉田 祥一郎 (東北大院・薬)

17:40—17:45 ヒト Toll-like receptor 3 の N 末端に存在するヒスチジン残基による二本鎖 RNA 認識の調節機構 P/0-075

時末 高至¹⁾、渡部 智也¹⁾、辻田 忠志²⁾、西川 諭³⁾、長谷川 典巳¹⁾、瀬谷 司²⁾、松本 美佐子²⁾、福田 宏太郎¹⁾

¹⁾山形大院・理工 ²⁾北大院・医 ³⁾産総研・年齢軸

17:45—17:50 *Staphylococcus saprophyticus* 由来細胞接着因子 UafA の構造解析 P/0-076

松岡 瑛梨子¹⁾、〇姚 閔¹⁾、田中 良和¹⁾、黒田 誠²⁾、太田 敏子³⁾、田中 勲¹⁾

¹⁾北大・先端生命 ²⁾国立感染研 ³⁾筑波大院・人間総合

17:50—17:55 腹腔内マクロファージによるオリゴマンノース被覆リポソームのファゴサイトーシスには補体 C3 のオプソニン化が重要である。 P/0-085

阿辺 雄¹⁾ 野陳 理¹⁾ 梶原 敏充²⁾ 黒田 泰弘²⁾ 横山 直明³⁾ 小島直也¹⁾²⁾

¹⁾東海大・工 ²⁾東海大・糖鎖科学研 ³⁾帯広畜産大・原虫病研究センター

シンポジウム 5 「自然免疫と臨床疾患 I」

座長：大井 洋之 (順天堂大・医)

堀内 孝彦 (九州大院・医)

16:00—16:05 発作性夜間血色素尿症患者における HMGA2 の発現について P/0-102

村上 良子¹⁾、太田 里永子²⁾、井上 徳光³⁾、木下 タロウ¹⁾⁴⁾

¹⁾大阪大・微研、²⁾名古屋大院・医、³⁾大阪成人病センター研究所、⁴⁾大阪大・免疫学フロンティア研究センター

16:05—16:10 ヒト血管内皮細胞では酵母ファゴサイトーシスは CL-P1 が担う P/0-083

張 成宰、大谷 克城、森 健一郎、本村 亘、福澤 純、吉田 逸朗、若宮 伸隆
旭川医大・微生物学

16:10—16:15 肺コレクチンは非定型抗酸菌に結合し菌体凝集を惹起する P/0-082

有木 茂¹⁾、澤田 格¹⁾、賀佐 伸省²⁾、藤井 暢弘³⁾、山添 雅己¹⁾、清水 健之¹⁾、西谷 千明¹⁾、高橋 素子¹⁾、黒木 由夫¹⁾

¹⁾札幌医大・医・医化学 ²⁾札幌医大・医・化学 ³⁾札幌医大・医・微生物学

16:15—16:40 補体免疫を回避する A 群レンサ球菌の分子機構 S-5-1

寺尾 豊 (大阪大院・菌)

プログラム

3 学会合同大会「自然免疫の最前線」Frontier of Innate Immunity

第 73 回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会／第 19 回日本生体防御学会学術総会／第 45 回補体シンポジウム

- 16:40—17:05 **感染症、自己免疫疾患と補体**
—補体 MBL と C3 の遺伝子解析からわかったこと—S-5-2
堀内 孝彦（九州大院・医）
- 17:05—17:30 **血液透析患者における赤血球補体レセプター-1 (E-CR1) の臨床及び病態的検討** S-5-3
大井 洋之（順天堂大・医）
- 17:30—17:55 **抗体医薬品の現状と展望** S-5-4
土屋 政幸（中外製薬（株））

7月11日（金）プログラム

- 09:00—10:40 **ワークショップ 1（2F 講堂）**
「感染と発がん・抗がん応答の機序」
座長：畠山 昌則（北海道大・遺制研）
神奈木 真理（東京医科歯科大）
- 09:00—09:25 **細菌性癌タンパク質としてのピロリ菌 CagA** W-1-1
畠山 昌則（北海道大・遺制研）
- 09:25—09:50 ***Helicobacter pylori* と胃癌** W-1-2
立松 正衛（愛知県がんセンター研究所）
- 09:50—10:15 **HTLV-I 感染における免疫応答と疾患発現** W-1-3
神奈木 真理（東京医科歯科大）
- 10:15—10:40 **EB ウイルスによる自然免疫系の修飾と発がん** W-1-4
高田 賢蔵（北海道大・遺制研）
- 10:40—11:10 **コーヒーブレイク**
- 11:10—12:25 **ポスター演題発表 1（2F 講堂）**
座長：高岡 晃教（北海道大・遺制研）
岩渕 和也（北海道大・遺制研）
- 11:10—11:15 ***Staphylococcus aureus* 由来細胞表層巨大蛋白質 Ebh の立体構造解析** P/0-078
田中良和^{1),2),3)}, 坂本壮²⁾, 黒田誠⁴⁾, 郷田秀一郎⁵⁾, 高 永貴³⁾, 津本浩平²⁾, 柊 弓弦⁶⁾, 姚 閔³⁾, 渡邊信久^{3),7)}, 太田敏子⁸⁾, 田中勲³⁾
¹⁾北大・創成, ²⁾東大・院新領域, ³⁾北大・生命科学院, ⁴⁾感染研, ⁵⁾長崎大,
⁶⁾関西医大, ⁷⁾名大・院工, ⁸⁾筑波大・基礎医
- 11:15—11:20 **Variable lymphocyte receptor の遺伝学的・構造学的解析** P/0-072
笠松純 須藤洋一 笠原正典
北大・医

プログラム

3 学会合同大会「自然免疫の最前線」Frontier of Innate Immunity

第 73 回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会／第 19 回日本生体防御学会学術総会／第 45 回補体シンポジウム

- 11:20-11:25 **豚コレラウイルスの感染より誘導された I 型インターフェロンが直接豚腎臓細胞のアポトーシスを誘導する** P/0-034
 迫田義博¹⁾ 伊藤麻子¹⁾ 亀山健一郎¹⁾ 野村拓志¹⁾ N. Ruggli²⁾
 J.-D. Trastschin²⁾ 喜田宏^{1) 3)}
¹⁾北海道大学・大学院獣医学研究科・微生物学教室 ²⁾スイス獣医ウイルス免疫学研究所 ³⁾北海道大学・人獣共通感染症リサーチセンター
- 11:25-11:30 **新規 EBV-BAC システムによる B リンパ芽球様細胞株における効率の良い遺伝子発現法** P/0-107
 神田 輝¹⁾ 高田 賢蔵²⁾
 北海道大・遺制研・¹⁾附属ウイルスベクター開発センター・²⁾癌ウイルス
- 11:30-11:35 **マウスマラリア原虫の制御性 T 細胞活性化における TLR9 の役割** P/0-046
 久枝 一、姫野國祐
 九州大学・医学研究院
- 11:35-11:40 **MUC1-C3d ワクチンによる免疫増強効果** P/0-064
 太田里永子¹⁾, Chun He¹⁾, Ted Ross²⁾, 岡田則子³⁾, Stephen Tomlinson¹⁾, 今井優樹^{1), 3)}
 サウスカロライナ医科大¹⁾ ピッツバーグ大・医²⁾ 名市大院・医³⁾
- 11:40-11:45 **BCG 誘発性肺肉芽腫形成における IL-17 産生 TcR $\gamma\delta$ 型 T 細胞の関与** P/0-012
 梅村正幸¹⁾ 岡本祐子¹⁾ 矢作綾野¹⁾ 中江進²⁾ 岩倉洋一郎²⁾ 松崎吾朗¹⁾
¹⁾琉球大・分生研セ・分子感染防御、²⁾東大・医科研・ヒト疾患モデル
- 11:45-11:50 **C5a/S19キメラのモルモット急性炎症モデルにおける炎症抑制効果** P/0-021
 太田宜彦 谷口啓介 西浦弘志 山本哲郎
 熊本大学大学院医学教育部機能病態学講座病態制御学専攻 分子病理学分野
- 11:50-11:55 **ゾレドロネートで刺激したヒト PBMC の $\gamma\cdot\delta$ T 細胞の増殖とその機能に及ぼす IL-18 の効果** P/0-059
 鈴木透¹⁾, 李文¹⁾, 久保秀司¹⁾, 蒲池直美¹⁾, 柏村信一郎¹⁾, 上田晴康²⁾, 岡村春樹¹⁾
¹⁾兵庫医大、²⁾兵庫医療大・薬
- 11:55-12:00 **ATP によるマクロファージの活性化に起因する Con A 誘導性肝炎の悪化経路** P/0-018
 川村宏樹¹⁾ 川村俊彦¹⁾ Gunter Dennert²⁾ 安保 徹¹⁾²⁾
¹⁾新潟大院・免疫 ²⁾USC・免疫
- 12:00-12:05 **四塩化炭素肝障害マウスにおいて生体防護シグナル分子の産生を誘導する糖脂質とその自然免疫賦活化活性** P/0-096
 相良佳男 門楯宏志 上田ゆかり 平良全栄
 徳島文理大・薬
- 12:05-12:10 **TLR を介した caspase-1 活性化における TRIF の必要性** P/0-051
 今村美智子¹⁾, 安田好文²⁾, 審良静男⁴⁾, 筒井ひろ子³⁾, 藤元治朗¹⁾, 中西憲司²⁾
¹⁾兵庫医科大学外科学教室 ²⁾同大学免疫医動物学教室 ³⁾同大学病原微生物学教室 ⁴⁾大阪大学微生物病研究所
- 12:10-12:15 **抗 HIV-1 活性を示すヒト抗 Nef-IgM モノクローナル抗体の解析** P/0-023
 岡田則子¹⁾、河村剛至¹⁾、小田中瑞夕¹⁾、岡田秀親^{1), 2)}
¹⁾名古屋市立大学大学院医学研究科免疫学分野、²⁾福祉村病院長寿医学研究所
- 12:15-12:20 **低分子量 G タンパク質 Rac1 は四肢形成に必須である** P/0-070
 鈴木大¹⁾ 山田篤¹⁾ 安原理佳¹⁾ 木村文子²⁾ 妻木範行³⁾ 竹田秀²⁾ 中村雅典⁴⁾ 饗場篤⁵⁾ 上條竜太郎¹⁾
¹⁾昭和大学・歯学部・口腔生化学教室 ²⁾東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・整形外科学講座 ³⁾昭和大学・歯学部・口腔解剖学教室 ⁴⁾神戸大学・大学院医学研究科・分子遺伝学分野

12:20-12:25 **食細胞NADPHオキシダーゼgp91^{phox}/Nox2と非食細胞Nox1とNox3の活性化における低分子量Gタンパク質Racのinsert helixの役割** P/0-015
宮野 佳, 住本 英樹
九州大学・生体防御医学研究所・増殖分化制御学

12:30-13:30 **ランチョンセミナー (1 F 小講堂)**

「サイトカイン遺伝子の発現誘導におけるアンチセンス転写物の働き」

西澤 幹雄 (立命館大・生命科学部)

13:30-14:15 **ポスター演題発表 2 (2 F 講堂)**

座長: 畠山 鎮次 (北海道大院・医)

中尾 実樹 (九州大院・農)

13:30-13:35 **上皮細胞増殖因子(EGF)依存的な PTHrP の発現制御と口腔癌細胞の増殖能・局所浸潤能との関連性** P/0-069

山田珠希^{1,2)} 津田真寿美¹⁾ 大場雄介¹⁾ 川口秀明¹⁾ 戸塚靖則²⁾ 進藤正信²⁾
¹⁾北大・院医 ²⁾北大・院歯

13:35-13:40 **マウス実験性腸炎モデルを用いての CD30 リガンド/CD30 の炎症性腸疾患における役割の解明** P/0-049

孫 遜¹⁾、山田久方¹⁾、柴田健輔¹⁾、牟田浩実²⁾、谷憲三朗²⁾、Eckhard R. Podack³⁾、吉開泰信¹⁾

九州大学・生体防御医学研究所・¹⁾感染制御学、²⁾ゲノム病態学、³⁾Department of Microbiology and Immunology, University of Miami, Miami, FL 33101, USA.

13:40-13:45 **パネト細胞α-defensinと腸内自然免疫:クローン病との関わりを含めて** P/0-014

綾部時芳¹⁾ 深谷梨恵¹⁾ 坂井直樹¹⁾ 前本篤男²⁾ 蘆田知史²⁾ 河野 透³⁾ 田邊裕貴⁴⁾ 高後 裕⁴⁾

¹⁾北大・先端生命 ²⁾札幌東徳洲会病院・IBD ¹⁾旭川医大・外科 ¹⁾旭川医大・内科

13:45-13:50 **がん微小環境における腫瘍血管内皮細胞の異常性** P/0-067

樋田京子¹⁾、樋田泰浩²⁾、秋野文臣^{1),3)}、大賀則孝^{1),4)}、松田光平^{1),4)}、黒須拓郎^{1),4)}、土屋邦彦^{1),3)}、村木 力^{1),4)}、進藤正信¹⁾

¹⁾北大・歯・病理 ²⁾北大・腫瘍外科、³⁾腎泌尿器科、⁴⁾北大・歯・口腔外科

13:50-13:55 **血管新生を制御する新規遺伝子の同定とその機能解析** P/0-066

犬塚貴之¹⁾ 津田真寿美¹⁾ 田中伸哉¹⁾ 川口秀明¹⁾ 東雄二郎²⁾ 大場雄介¹⁾
¹⁾北大・院医 ²⁾愛知県心身障害者コロニー

13:55-14:00 **癌から分泌される乳酸による IL-23/IL-17 活性化経路** P/0-061

井上徳光¹⁾、志馬寛明¹⁾³⁾、藪政彦¹⁾、赤澤 隆¹⁾、児玉 憲²⁾、松本美佐子³⁾、瀬谷 司³⁾

¹⁾大阪府立成人病センター研究所・分子遺伝学、²⁾呼吸器外科、³⁾北海道大学大学院医学研究科・免疫学

14:00-14:05 **改良型 NF-κB 活性検出システムの構築** P/0-106

築山忠維 松田真由子 畠山鎮次

北海道大学大学院・医学研究科・医化学分野

14:05-14:10 **サイトカイン固定化マイクロビーズを用いた局所シグナル伝達機構の解析** P/0-105

荒津史裕¹⁾ 原田伊知郎¹⁾²⁾ 田川陽一¹⁾²⁾ 赤池敏宏¹⁾

¹⁾東工大・生命理工 ²⁾科学技術振興機構 さきがけ

- 14:10-14:15 **黄斑変性カニクイザルにおける補体関連分子の解析** P/0-088
 岩田 岳¹⁾、池 在龍¹⁾、関 麻子¹⁾、吉田統彦¹⁾、三宅養三¹⁾、溝田 淳³⁾、
 鈴木通弘³⁾、寺尾恵治⁴⁾、吉川泰弘⁵⁾
¹⁾ 独立行政法人国立病院機構東京医療センター臨床研究センター（感覚器センター）、²⁾ 順天堂大学医学部浦安病院眼科、³⁾ 社団法人予防衛生協会、⁴⁾ 独立行政法人医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター、⁵⁾ 東京大学農学生命科学研究科

14:15-16:15 **シンポジウム 4 (1 F 小講堂) / シンポジウム 6 (2 F 講堂)**

シンポジウム 4 「免疫と分子進化」

座長：野中 勝（東京大院・理）
 笠原 正典（北海道大院・医）

- 14:15-14:39 **補体系の分子進化 - レクチン経路と第二経路-** S-4-1
 藤田 禎三（福島県立医大・医）
- 14:39-15:03 **カプトガニにおける補体活性化カスケードの分子機構** S-4-2
 川畑 俊一郎（九州大院・理）
- 15:03-15:11 **コイ補体成分 C7 アイソタイプのクローニングと発現解析** P/0-087
 赤星 佐和、辻倉 正和、柚本 智軌、中尾 実樹
 九州大院・農
- 15:11-15:35 **イムノプロテアソーム遺伝子多型と MHC の進化** S-4-3
 野中 勝（東京大院・理）
- 15:35-15:43 **“21 番目のアミノ酸” セレノシステインを取り込むための分子基盤**
P/0-079
 尾瀬 農之^{1, 3)}、Linda Rasubala¹⁾、神田 大輔¹⁾、Nicolas Soler²⁾、吉澤 聡子²⁾、Dominique Fourmy²⁾、前仲 勝実¹⁾
¹⁾ 九大・生医研 ²⁾ ICSN-CNRS ³⁾ 北大・生命科学学院
- 15:43-15:51 **フグ Toll 様受容体(TLR)、TLR21 の機能解析** P/0-073
 松尾 綾¹⁾、押海 裕之¹⁾、松本 美佐子¹⁾、瀬谷 司^{1) 2)}
¹⁾ 北大・医、²⁾ 北大・生命科学学院
- 15:51-16:15 **円口類のユニークな生体防御戦略** S-4-4
 笠原 正典（北海道大院・医）

シンポジウム 6 「自然免疫と臨床疾患 II」

座長：富永 真一（自治医大・医）
 中西 憲司（兵庫医大）

- 14:15-14:40 **ST2 遺伝子と病気** S-6-1
 富永 真一（自治医大・医）
- 14:40-15:05 **成人気管支喘息重症度と IL-18 遺伝子多型の相関解析** S-6-2
 玉利 真由美（理研・ゲノム医学研究センター）
- 15:05-15:30 **アレルギーにおけるマスト細胞と T 細胞のクロストーク** S-6-3
 中江 進（東京大・医科研）

- 15:30—15:55 **IL-33 は獲得免疫応答の関与なしに自然型気管支喘息を誘導する** S-6-4
善本 知広 (兵庫医大)
- 15:55—16:00 **Dcir の欠損は樹状細胞の過剰増殖に起因する自己免疫疾患発症の原因となる** P/0-071
藤門 範行¹⁾、西城 忍¹⁾、米沢 朋¹⁾²⁾、島森 一輔¹⁾、石井 明奈¹⁾、須貝 縦¹⁾、小瀧 逸人¹⁾、須藤 カツ子¹⁾、能勢 真人³⁾、岩倉 洋一郎¹⁾
¹⁾東大医科研 ²⁾ジェノダイブファーマ (株) ³⁾愛媛大・医
- 16:00—16:05 **ATL 腫瘍細胞の走化性における CXCR4 を介したシグナル経路の解析** P/0-068
川口 晶¹⁾、大場 靖子¹⁾、木村 享史¹⁾、伊波 英克²⁾、緒方 正男³⁾、佐多 徹太郎⁴⁾、澤 洋文¹⁾、長谷川 秀樹⁴⁾
¹⁾北大・人獣センター、²⁾大分大・医、³⁾大分大・医・病院、⁴⁾国立感染研
- 16:05—16:10 **Toll-like receptor 4 の agonistic antibody によるマラリアの制御** P/0-043
古田 隆久¹⁾、高村 (赤司) 祥子¹⁾、三宅 健介¹⁾、松岡 裕之²⁾、渡辺 直熙³⁾
¹⁾東大医科研・感染遺伝学、²⁾自治医大・医・医動物、³⁾慈恵医大・熱帯医学
- 16:15—16:45 コーヒーブレイク
- 16:45—17:15 **ポスター演題発表 3 (2 F 講堂)**
座長：横田 伸一 (札幌医大・医)
- 16:45—16:50 **カビ毒による白血球遊走阻害とメカニズム解析** P/0-104
寺川 貴裕、土屋 朋子、一杉 規子、山内 明、金ヶ崎 史朗
(株) エフェクター細胞研究所
- 16:50—16:55 **CD25 陽性 IL-17 産生 $\gamma\delta$ T 細胞は胎児胸腺で機能分化を果たす** P/0-057
柴田 健輔 山田 久方 中村 梨沙 孫遜 逸見 百江 吉開 泰信
九州大学・生医研・感染制御学分野
- 16:55—17:00 **Interleukin-27 およびその受容体による遅延型過敏反応の抑制** P/0-048
宮崎 義之 島ノ江 洋平 王 森 吉田 裕樹
佐賀大・医・分子生命科学・生体機能制御学
- 17:00—17:05 **ITAM を介した NF- κ B 活性化の細胞種特異的な制御機構** P/0-047
原 博満¹⁾²⁾、吉田 裕樹¹⁾、齊藤 隆²⁾
¹⁾佐賀大学・分子生命科学 ²⁾理化学研究所 RCAI
- 17:05—17:10 **マウススクレーパー病原体の消化管における初期動態** P/0-042
阿野 泰久¹⁾、佐藤 雪太⁴⁾、井関 倫子⁴⁾、中山 裕之²⁾³⁾、佐多 徹太郎⁵⁾、湯川 眞嘉⁴⁾、小野 寺節¹⁾³⁾
東大院農¹⁾応用免疫、²⁾獣医病理、³⁾食の安全、⁴⁾日大生物資源実験動物、⁵⁾国立感染研感染病理
- 17:10—17:15 **クリプトコッカス DNA による樹状細胞活性化機序の解析** P/0-041
田中 三鈴¹⁾、宮里 明子²⁾、阿部 讓¹⁾、丹野 大樹¹⁾、石井 恵子¹⁾、川上 和義¹⁾
¹⁾東北大学大学院医学系研究科基礎検査医科学領域 感染分子病態解析学分野、²⁾埼玉医科大学国際医療センター 感染症科・感染制御科
- 17:15—18:15 **ポスターセッション (第 1 会議室)**

18:30-20:00 懇親会（きゃら亭）

7月12日（土）プログラム

09:00-10:45 ワークショップ2（2F講堂）

「新興感染症とその対策」

座長：喜田 宏（北海道大・獣医、人獣リサーチ）

木下 タロウ（大阪大・微研）

09:00-09:45 「新興・再興感染症研究拠点形成プログラム」の目的、現況、展望 W-2-1

永井 美之（理研・感染症研究ネットワーク支援センター）

09:45-10:15 人獣共通感染症の先回り予防戦略 W-2-2

高田 礼人（北海道大・人獣共通感染症リサーチセンター）

10:15-10:45 鳥インフルエンザと新型ウイルス W-2-3

喜田 宏（北海道大・獣医、人獣共通感染症リサーチセンター）

10:45-11:00 コーヒーブレイク

11:00-11:30 総会

日本インターフェロン・サイトカイン学会（2F講堂）

日本生体防御学会（1F小講堂）

補体研究会（第3会議室）

11:30-12:45 学会奨励賞受賞講演（2F講堂）

11:30-11:55 CARD9 と CARMA1 を介した免疫細胞活性化の制御機構

原 博満（佐賀大・医）

自己免疫疾患における Dcir の役割

藤門 範行（東京大・医科研）

IL-15 と特異的受容体 IL-15R α の認識機構の構造生物学的研究

池水 信二（熊本大・医学薬学研究部）

座長：松島 綱治（東京大・医）

11:55-12:20 細胞内寄生性細菌感染における Interleukin-17 の防御機構の解明

梅村 正幸（琉球大学分子生命科学研究センター）

座長：光山 正雄（京都大・医）

12:20-12:45 MASP-1 による補体第二経路の D 因子の活性化

高橋 実（福島県立医大）

座長：木下 タロウ（大阪大・微研）

ポスタープログラム

- P/0-001 **α -galactosylceramide によるリステリア感染制御作用**
江本 正志、江本 善子
群馬大・医・保健学科
- P-002 **α -galactosylceramide によるマクロファージのファゴソーム内におけるリステリア殺菌能増強作用**
江本善子¹ 河村伊久雄² 光山正雄² 江本正志¹
¹群馬大学医学部保健学科基礎検査学講座生体防御学分野
²京都大学大学院医学研究科微生物感染症学
- P/0-003 **リステリア感染で誘導される宿主 caspase-1 活性化における listeriolysin 0 の関与**
原 英樹、土屋 晃介、河村 伊久雄、野村 卓正、光山 正雄
京都大・院医・微生物感染症学
- P-004 **ショウジョウバエ自然免疫反応に関わる受容体型グアニル酸シクラーゼの機能解析**
岩下真三、後藤彰、名部久美子、福崎真崇、大島吉輝、倉田祥一郎
東北大院・薬
- P-005 **皮膚創傷治癒過程における好中球の集積と TNF- α 産生：緑膿菌接種の影響**
立雅恵¹⁾ 菅野恵美^{1,2)} 鳥谷部荘八¹⁾ 石井恵子³⁾ 丸山良子²⁾ 川上和義³⁾ 館正弘¹⁾
¹⁾東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座 形成外科学分野
²⁾東北大学大学院医学系研究科臨床実践学領域 看護アセスメント学分野
³⁾東北大学大学院医学系研究科基礎検査医科学領域 感染分子病態解析学分野
- P-006 **レジオネラ菌に対する肺コレクチンの増殖抑制作用**
澤田格^{1,2)}、有木茂¹⁾、山添雅己^{1,2)}、西谷千明¹⁾、清水健之¹⁾、高橋素子¹⁾、
横田伸一³⁾、藤井暢弘³⁾、高橋弘毅²⁾、黒木由夫¹⁾
札幌医科大学医学部・医化学講座¹⁾・内科学第三講座²⁾・微生物学講座³⁾
- P-007 ***Listeria monocytogenes* 感染に対する V δ 1⁺ γ δ 型 T 細胞の感染防御機構**
浜田聡、梅村正幸、塩野健、原博満、岸原健二、田中健照、黛宏和、松崎吾朗
1) 琉球大・分生研・分子感染防御、2) 佐賀大・医・生体機能制御、3) 長崎国際大・薬・免疫
- P-008 **結核菌および BCG の持続感染における免疫抑制受容体 PD-1 の役割**
酒井 俊祐¹⁾ 河村 伊久雄¹⁾ 内山 良介²⁾ 光山 正雄¹⁾
1) 京大院・医・微生物感染症学 2) 兵庫医大・病原微生物学
- P-009 **マウス Tag7 の抗菌活性ならびに自然免疫調節活性の解析**
長内 理大、中根 明夫
弘前大学大学院医学研究科・感染生体防御学
- P-010 **黄色ブドウ球菌接着因子による感染予防効果**
成田浩司¹⁾²⁾ 胡 東良¹⁾ 重茂克彦³⁾ 品川邦汎³⁾ 中根明夫¹⁾
¹⁾弘前大・院医・感染生体防御、²⁾弘前大・院医・動物実験施設
³⁾岩手大・農・獣医
- P/0-011 **ヒト単球由来マクロファージの分化と BCG ならびに結核菌感染における osteopontin 産生**
櫻田 紳策¹⁾、Chutharut Ridruechai²⁾、田中 崇裕¹⁾、赤川 清子³⁾、山崎 利雄⁴⁾、慶長 直人¹⁾
¹⁾国立国際医療センター研究所、²⁾マヒドン大、³⁾北里生命科学研、⁴⁾国立感染研
- P/0-012 **BCG 誘発性肺肉芽腫形成における IL-17 産生 TcR γ δ 型 T 細胞の関与**
梅村正幸¹⁾ 岡本祐子¹⁾ 矢作綾野¹⁾ 中江進²⁾ 岩倉洋一郎²⁾ 松崎吾朗¹⁾
¹⁾琉球大・分生研セ・分子感染防御、²⁾東大・医科研・ヒト疾患モデル
- P-013 **低毒性である *Helicobacter pylori* リポ多糖による Toll-like receptor 4 の発現増強作用の分子機構とその意義**
横田伸一¹⁾ 藤井暢弘¹⁾ 天野憲一²⁾
¹⁾札幌医大・医・微生物 ²⁾秋田大・バイオサイエンス教育・研究センター

- P/O-014 **パネト細胞 α -defensin と腸内自然免疫：クローン病との関わりを含めて**
 綾部時芳¹⁾ 深谷梨恵¹⁾ 坂井直樹¹⁾ 前本篤男²⁾ 蘆田知史²⁾ 河野 透³⁾ 田邊裕貴⁴⁾ 高後 裕⁴⁾
¹⁾北大・先端生命 ²⁾札幌東徳洲会病院・IBD ¹⁾旭川医大・外科 ¹⁾旭川医大・内科
- P/O-015 **食細胞 NADPH オキシダーゼ gp91^{phox}/Nox2 と非食細胞 Nox1 と Nox3 の活性化における低分子量 G タンパク質 Rac の insert helix の役割**
 宮野 佳, 住本 英樹
 九州大学・生体防御医学研究所・増殖分化制御学
- P-016 **マウスマクロファージ MHC (H-2K^d) 受容体 2 (MMR2) 欠損マウス**
 山路-田代 純子¹⁾、伊川 正人²⁾、岡部 勝²⁾、清水 徹之介¹⁾、井畑 峰紀¹⁾、井上善博¹⁾、平野 雅予¹⁾、森 禎章¹⁾、窪田 隆裕¹⁾、吉田 龍太郎¹⁾
¹⁾大阪医大・生理学、²⁾大阪大・微研・遺伝子機能解析分野
- P-017 **マクロファージにおけるジアシルリポペプチド FSL-1 刺激により誘導される遺伝子発現の網羅的解析と FSL-1 の取り込み様式**
 長谷部 晃、モハメド シャムスル ハク、伊従 光洋、木浦 和人、大谷 誠、柴田 健一郎
 北大院歯・口腔病態
- P/O-018 **ATP によるマクロファージの活性化に起因する Con A 誘導性肝炎の悪化経路**
 川村宏樹¹⁾ 川村俊彦¹⁾ Gunter Dennert²⁾ 安保 徹¹⁾²⁾
¹⁾新潟大院・免疫 ²⁾USC・免疫
- P-019 **硫酸化フコガラクトタンによるエラスチンリセプターを介した単球走化**
 山本 哲郎、李 穎、西浦 弘志、斎田和孝
 熊本大学大学院医学薬学研究部分子病理分野
- P-020 **好中球補体 C5a リセプターを介した純細胞走化シグナルの解析**
 西浦 弘志、賈 楠、千場 梅子、山本 哲郎
 熊本大学大学院医学薬学研究部分子病理分野
- P/O-021 **C5a/S19 キメラのモルモット急性炎症モデルにおける炎症抑制効果**
 太田宜彦 谷口啓介 西浦弘志 山本哲郎
 熊本大学大学院医学教育部機能病態学講座病態制御学専攻 分子病理学分野
- P/O-022 **インフルエンザウイルス肺炎における活性酸素シグナル応答の分子メカニズム**
 岡本 竜哉、澤 智裕、藤井 重元、赤池 孝章
 熊本大・院・医薬
- P/O-023 **抗 HIV-1 活性を示すヒト抗 Nef-IgM モノクローナル抗体の解析**
 岡田則子¹⁾、河村剛至¹⁾、小田中瑞夕¹⁾、岡田秀親¹⁾²⁾
¹⁾名古屋市立大学大学院医学研究科免疫学分野、²⁾福祉村病院長寿医学研究所
- P-024 **DEAD box ヘリケース DDX3 は細胞内ウイルス認識受容体 RIG-I と MDA5 と相互作用し IPS-1 による I 型インターフェロンの産生を促進する**
 押海裕之、坂井圭輔、松本美佐子、瀬谷司
 北大院・医
- P-025 **新規抗ウイルス分子 DDX-A の機能解析**
 宮下 萌子¹⁾、押海 裕之²⁾、松本 美佐子²⁾、瀬谷 司^{1,2)}
¹⁾北海道大・生命科学院、²⁾北海道大・医学研究科
- P/O-026 **IPS-1 変異体による新規自然免疫活性化メカニズムの解析および免疫調節薬への応用**
 小檜山 康司¹⁾、武下 文彦¹⁾、石井 健²⁾、鈴木 幸一³⁾、奥田 研爾¹⁾
 横市大・医¹⁾、大阪大・医²⁾、感染研³⁾
- P-027 **Toll-like receptor 8 の細胞内局在の解析**
 伊藤裕樹¹⁾、瀬谷司¹⁾²⁾、松本美佐子²⁾
¹⁾ 北大・生命科学院 ²⁾ 北大・院・医
- P-028 **TICAM1 依存性クロスプレゼンテーションの解析**
 東正大¹⁾ 海老原敬¹⁾ 松本美佐子²⁾ 瀬谷司¹⁾²⁾
¹⁾北大・生命科学院 ²⁾北大・医

- P-029 **抗 HCV 樹状細胞応答の解析**
海老原敬¹⁾ 松本美佐子²⁾ 脇田 隆字³⁾ 瀬谷司¹⁾²⁾
¹⁾北大・生命科学院 ²⁾北大・医 ³⁾国立感染症研究所 ウイルス第二部
- P-030 **RIG-I CARD オリゴマー形成によるシグナル伝達機構の解析**
尾野本浩司 米山光俊 藤田尚志
京都大学ウイルス研究所 分子遺伝学研究分野
- P-031 **インフルエンザウイルス感染後の病態形成におけるオステオポンチンの役割**
佐藤佳代子¹⁾ 森本純子²⁾ 高田礼人¹⁾ 喜田宏¹⁾³⁾ 上出利光²⁾ 宮崎忠昭¹⁾
¹⁾北大・人獣共通感染症リサーチセンター ²⁾北大・遺制研 ³⁾北大・獣医
- P-032 **RS ウイルスによる IFN 非依存的 MDA5 発現調節と I 型 IFN 産生機序**
岡林環樹¹⁾ 横田伸一¹⁾ 横沢紀子¹⁾ 堤裕幸²⁾ 藤井暢弘¹⁾
¹⁾札幌医大・医・微生物, ²⁾札幌医大・医・小児科
- P-033 **豚コレラウイルス感染細胞内における自然免疫関連因子 Interferon Promoter Stimulator-1 (IPS-1) の動態**
野村拓志¹⁾ 迫田義博¹⁾ 松野啓太¹⁾ 喜田宏¹⁾²⁾
¹⁾北海道大学・大学院獣医学研究科・微生物学教室 ²⁾北海道大学・人獣共通感染症リサーチセンター
- P/0-034 **豚コレラウイルスの感染より誘導された I 型インターフェロンが直接豚腎臓細胞のアポトーシスを誘導する**
迫田義博¹⁾ 伊藤麻子¹⁾ 亀山健一郎¹⁾ 野村拓志¹⁾ N. Ruggli²⁾ J.-D. Trastschin²⁾ 喜田宏¹⁾³⁾
¹⁾北海道大学・大学院獣医学研究科・微生物学教室 ²⁾スイス獣医ウイルス免疫学研究所 ³⁾北海道大学・人獣共通感染症リサーチセンター
- P/0-035 **EB ウイルス non-coding RNA による Toll-like receptor 3 シグナルの活性化**
岩切 大、高田 賢蔵
北海道大、遺制研
- P-036 **IL-12 並びに特異抗原刺激による invariant NKT 細胞内外の TCR/NK1.1 分子の動態**
小池裕美・江本善子・江本正志
群馬大学医学部保健学科基礎検査学講座生体防御学分野
- P-037 **SLE モデルマウスにおける Foxp3 陽性制御性 T 細胞の増加**
阿部淳¹⁾、上羽悟史¹⁾、鈴木淳²⁾、戸叶嘉明²⁾、松島綱治¹⁾、石川昌¹⁾
¹⁾東京大学大学院医学系研究科 ²⁾順天堂大学医学部
- P-038 **Spirulina 熱水抽出物経口投与による抗腫瘍 NK 細胞の活性化**
赤尾雄介¹⁾ 海老原敬¹⁾ 松本美佐子¹⁾²⁾ 瀬谷司¹⁾²⁾
¹⁾北大・医 ²⁾大阪府立成人病センター
- P-039 **MD-1 によるマラリアの防御免疫制御**
渡辺直熙¹⁾、古田隆久²⁾、三宅健介²⁾
¹⁾慈恵医大・熱帯医学、²⁾東大医科研・感染遺伝
- P-040 **クリプトコッカス DNA による樹状細胞活性化への真菌培養上清の影響**
丹野大樹¹⁾、宮里明子²⁾、位田 剣³⁾、Gang Xiao¹⁾、阿部 讓¹⁾、田中三鈴¹⁾、石井恵子¹⁾、川上和義¹⁾
1) 東北大学大学院医学系研究科基礎検査医科学領域 感染分子病態解析学分野、2) 埼玉医科大学国際医療センター 感染症科・感染制御科、3) 東北大学大学院医学系研究科 感染制御・検査診断学分野
- P/0-041 **クリプトコッカス DNA による樹状細胞活性化機序の解析**
田中三鈴¹⁾、宮里明子²⁾、阿部 讓¹⁾、丹野大樹¹⁾、石井恵子¹⁾、川上和義¹⁾
1) 東北大学大学院医学系研究科基礎検査医科学領域 感染分子病態解析学分野、2) 埼玉医科大学国際医療センター 感染症科・感染制御科
- P/0-042 **マウススクレーピー病原体の消化管における初期動態**
阿野泰久¹⁾、佐藤雪太⁴⁾、井関倫子⁴⁾、中山裕之²⁾³⁾、佐多徹太郎⁵⁾、湯川眞嘉⁴⁾、小野寺節¹⁾³⁾
東大院農¹⁾応用免疫、²⁾獣医病理、³⁾食の安全、⁴⁾日大生物資源実験動物、⁵⁾国立感染研感染病理

- P/O-043 **Toll-like receptor 4 の agonistic antibody によるマラリアの制御**
 古田 隆久¹、高村(赤司) 祥子¹、三宅 健介¹、松岡 裕之²、渡辺 直熙³
^{1) 東大医科研・感染遺伝学、^{2) 自治医大・医・医動物、^{3) 慈恵医大・熱帯医学}}}
- P-044 **β-グルカン受容体 dectin-1 の真菌認識と免疫活性化機構の解析**
 安達禎之 池田義彦 加藤雄也 池田 太 石井崇司 石橋健一 三浦典子 大野尚仁
 東京薬大・薬
- P-045 **In vivo RNAi を用いた日本住血吸虫ペルオキシレドキシンの解析**
 熊谷 貴¹ 長田良雄² 下河原理江子¹ 関文典¹ 太田伸生¹
^{1) 東医歯大・院・国際環境寄生虫病 ^{2) 産医大・医・免疫学寄生虫学}}
- P/O-046 **マウスマラリア原虫の制御性 T 細胞活性化における TLR9 の役割**
 久枝 一、姫野國祐
 九州大学・医学研究院
- P/O-047 **ITAM を介した NF-κB 活性化の細胞種特異的な制御機構**
 原博満¹⁾²⁾、吉田裕樹¹⁾、齊藤隆²⁾
^{1) 佐賀大学・分子生命科学 ^{2) 理化学研究所 RCAI}}
- P/O-048 **Interleukin-27 およびその受容体による遅延型過敏反応の抑制**
 宮崎義之 島ノ江洋平 王森 吉田裕樹
 佐賀大・医・分子生命科学・生体機能制御学
- P/O-049 **マウス実験性腸炎モデルを用いての CD30 リガンド/CD3 の炎症性腸疾患における役割の解明**
 孫 遜¹⁾、山田久方¹⁾、柴田健輔¹⁾、牟田浩実²⁾、谷憲三朗²⁾、Eckhard R. Podack³⁾、吉開泰信¹⁾
 九州大学・生体防御医学研究所・^{1) 感染制御学、^{2) ゲノム病態学、^{3) Department of Microbiology and Immunology, University of Miami, Miami, FL 33101, USA.}}}
- P-050 **IL-33 のマウス生体内投与は獲得免疫応答非依存性に *Nippostrongylus brasiliensis* 排虫作用を有する杯細胞を誘導する**
 安田好文¹⁾、佐々木由紀¹⁾、近藤祐一²⁾、松本真琴¹⁾、善本知広¹⁾、中西憲司¹⁾
^{1) 兵庫医科大学・免疫・医動物、^{2) 同・外科}}
- P/O-051 **TLR を介した caspase-1 活性化における TRIF の必要性**
 今村美智子¹⁾、安田好文²⁾、審良静男⁴⁾、筒井ひろ子³⁾、藤元治朗¹⁾、中西憲司²⁾
^{1) 兵庫医科大学外科学教室 ^{2) 同大学免疫医動物学教室 ^{3) 同大学病原微生物学教室 ^{4) 大阪大学微生物病研究所}}}}
- P-052 **オリゴマンノース被覆リポソーム (OML) による MAP キナーゼの活性化とサイトカインの産生調節**
 沼崎麻希¹⁾ 加藤千晶²⁾ 石井麻莉子¹⁾ 小島直也^{1,2)}
^{1) 東海大学・工 ^{2) 東海大・糖鎖科学研究所}}
- P-053 **ヒト歯周病原菌感染マウス心臓におけるサイトカイン発現**
 赤松佑紀¹⁾²⁾ 喜多正和¹⁾ 山本俊郎¹⁾²⁾ 大迫文重¹⁾²⁾ 山本健太¹⁾²⁾ 金村成智²⁾
 今西二郎¹⁾
 京都府立医科大学大学院医学研究科免疫・微生物¹⁾、歯科口腔科学²⁾
- P-054 **B-1B 細胞由来獲得型 IgM 抗体が急性細菌肺炎時に AID 及び IL-13 依存的に応答する機構の解明**
 山本夏男¹⁾³⁾ Steven Kerfoot³⁾ 青柳哲史¹⁾ 丹野大樹²⁾ 國島広之¹⁾
 川上和義²⁾ 賀来満夫¹⁾ Philip W. Askenase³⁾
^{1) 東北大学病院・内科病態学講座・感染制御検査診断学分野 ^{2) 東北大学病院・保健学科 ^{3) Section of Allergy and Clinical Immunology, School of Medicine, Yale University}}}
- P-055 **シェーグレン症候群患者末梢 T 細胞における BAFF 産生制御機構の検討**
 吉本桂子、田中麻衣子、小松沙耶花、瀬戸山由美子、鈴木勝也、津坂憲政、安倍達、竹内勤
 埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科
- P-056 **ストレスホルモンとしてのサイトカイン～生体負荷の鑑別**
 関山敦生¹⁾²⁾³⁾⁴⁾⁵⁾、笠原恵美子¹⁾²⁾³⁾⁵⁾、加藤みわ子²⁾⁵⁾、北口公司¹⁾、松本信英¹⁾、足立邦子²⁾⁵⁾、宇野洋子¹⁾、齊藤史織²⁾⁵⁾、田平武¹⁾、井上正康²⁾、岡村春樹³⁾
^{1) 国立長寿医療センター・血管性認知症・生体防御 ^{2) 大市大・医・分子病態学 ^{3) 兵医大・先端医学・生体防御 ^{4) 東大・医科学研・細胞機能 ^{5) 榎坂病院、治療精神医学研}}}}}

- P/O-057 **CD25 陽性 IL-17 産生 $\gamma\delta$ T 細胞は胎児胸腺で機能分化を果たす**
柴田健輔 山田久方 中村梨沙 孫遜 逸見百江 吉開泰信
九州大学・生医研・感染制御学分野
- P-058 **ケモカイン CCL19 と CCL21 による自己抗原反応性 T 細胞誘導機構の解析**
桑原 卓, 石川 文雄, 田中 ゆり子, 岡田 弥生, 垣内 史堂
東邦大学医学部免疫
- P/O-059 **ゾレドロン酸で刺激したヒト PBMC の γ ・ δ T 細胞の増殖とその機能に及ぼす IL-18 の効果**
鈴木透¹, 李文¹, 久保秀司¹, 蒲池直美¹, 柏村信一郎¹, 上田晴康², 岡村春樹¹
¹兵庫医大、²兵庫医療大・薬
- P-060 **IL-4/STAT6 による Foxp3 発現抑制機構の解析**
高木宏美¹⁾ 高江洲義一²⁾ 小林隆志²⁾ 吉村昭彦³⁾
¹⁾北大・医学部 ²⁾九大・生医研・免疫制御学 ³⁾慶應大学・医学部
- P/O-061 **癌から分泌される乳酸による IL-23/IL-17 活性化経路**
井上徳光¹⁾、志馬寛明¹⁾³⁾、藪政彦¹⁾、赤澤 隆¹⁾、児玉 憲²⁾、松本美佐子³⁾、瀬谷 司³⁾
¹⁾大阪府立成人病センター研究所・分子遺伝学、²⁾呼吸器外科、³⁾北海道大学大学院医学研究科・免疫学
- P-062 **腫瘍の増殖に及ぼすジアシルリポペプチド FSL-1 の影響**
木浦 和人、柴田 健一郎
北大・歯
- P-063 **CTL 抵抗性 Meth A 線維肉腫細胞の同種同系マウスへの皮内接種のワクチン効果**
井畑峰紀^{1, 2}、高橋猛¹、山路純子¹、平野雅予¹、上田晃一²、窪田隆裕¹、吉田龍太郎¹
¹大阪医科大学・生理学、²大阪医科大学・形成外科
- P/O-064 **MUC1-C3d ワクチンによる免疫増強効果**
太田里永子¹⁾, Chun He¹⁾, Ted Ross²⁾, 岡田則子³⁾, Stephen Tomlinson¹⁾, 今井優樹^{1), 3)}
サウスカロライナ医科大¹⁾ ピッツバーグ大・医²⁾ 名市大院・医³⁾
- P-065 **無治療癌患者術前の単球グルタチオン index、血漿サイトカインレベル、による 予後予測**
宇野賀津子¹、松崎智彦²、八木克巳¹、羽室淳爾³、奥野清隆²
¹ルイ・パストゥール医学研究センター、²近大・医・外科、³慶応大・医・免疫
- P/O-066 **血管新生を制御する新規遺伝子の同定とその機能解析**
犬塚貴之¹⁾ 津田真寿美¹⁾ 田中伸哉¹⁾ 川口秀明¹⁾ 東雄二郎²⁾ 大場雄介¹⁾
¹⁾北大・院医 ²⁾愛知県心身障害者コロニー
- P/O-067 **がん微小環境における腫瘍血管内皮細胞の異常性**
樋田京子¹⁾、樋田泰浩²⁾、秋野文臣^{1), 3)}、大賀則孝^{1), 4)}、松田光平^{1), 4)}、
黒須拓郎^{1), 4)}、土屋邦彦^{1), 3)}、村木 力^{1), 4)}、進藤正信¹⁾
¹⁾北大・歯・病理 ²⁾北大・腫瘍外科、³⁾腎泌尿器科、⁴⁾北大・歯・口腔外科
- P/O-068 **ATL 腫瘍細胞の走化性における CXCR4 を介したシグナル経路の解析**
川口晶¹⁾、大場靖子¹⁾、木村享史¹⁾、伊波英克²⁾、緒方正男³⁾、佐多徹太郎⁴⁾、澤洋文¹⁾、長谷川秀樹⁴⁾
¹⁾北大・人獣センター、²⁾大分大・医、³⁾大分大・医・病院、⁴⁾国立感染研
- P/O-069 **上皮細胞増殖因子 (EGF) 依存的な PTHrP の発現制御と口腔癌細胞の増殖能・局所浸潤能との関連性**
山田珠希^{1, 2)} 津田真寿美¹⁾ 大場雄介¹⁾ 川口秀明¹⁾ 戸塚靖則²⁾ 進藤正信²⁾
¹⁾北大・院医 ²⁾北大・院歯
- P/O-070 **低分子量 G タンパク質 Rac1 は四肢形成に必須である**
鈴木大¹⁾ 山田篤¹⁾ 安原理佳¹⁾ 木村文子²⁾ 妻木範行³⁾ 竹田秀²⁾ 中村雅典⁴⁾ 饗場篤⁵⁾
上條竜太郎¹⁾
¹⁾昭和大・歯・口腔生化学 ²⁾東京医科歯科大・大学院医歯学総合研究科・整形外科 ³⁾大阪大・院医・骨軟骨形成制御学 ⁴⁾昭和大・歯・口腔解剖学 ⁵⁾神戸大・院医・分子遺伝学
- P/O-071 **Dcir の欠損は樹状細胞の過剰増殖に起因する自己免疫疾患発症の原因となる**
藤門 範行¹⁾、西城 忍¹⁾、米沢 朋^{1) 2)}、島森 一輔¹⁾、石井 明奈¹⁾、須貝 縦¹⁾、小瀧 逸人¹⁾、須藤 カツ子¹⁾、能勢 真人³⁾、岩倉 洋一郎¹⁾
¹⁾東大医科研 ²⁾ジェノダイブファーマ (株) ³⁾愛媛大・医

- P/0-072 **Variable lymphocyte receptor の遺伝学的・構造学的解析**
笠松純 須藤洋一 笠原正典
北大・医
- P/0-073 **フグ Toll 様受容体 (TLR)、TLR21 の機能解析**
松尾 綾¹⁾、押海 裕之¹⁾、松本 美佐子¹⁾、瀬谷 司^{1) 2)}
¹⁾北大・医、²⁾北大・生命科学院
- P-074 **刺胞動物イソギンチャク (*Nematostella vectensis*) の第二の補体系 B 因子遺伝子 (*NvfB-2*) のクローニングと発現部位の解析**
木村 鮎子・野中 勝
東京大学大学院理学系研究科・生物科学専攻
- P/0-075 **ヒト Toll-like receptor 3 の N 末端に存在するヒスチジン残基による二本鎖 RNA 認識の調節機構**
時末 高至¹⁾、渡部 智也¹⁾、辻田 忠志²⁾、西川 諭³⁾、長谷川 典巳¹⁾、瀬谷 司²⁾、松本 美佐子²⁾、福田 宏太郎¹⁾
¹⁾山形大院・理工 ²⁾北大院・医 ³⁾産総研・年齢軸
- P/0-076 ***Staphylococcus saprophyticus* 由来細胞接着因子 UafA の構造解析**
松岡 瑛梨子¹⁾、○姚 閔¹⁾、田中 良和¹⁾、黒田 誠²⁾、太田 敏子³⁾、田中 勲¹⁾
¹⁾北大・先端生命 ²⁾国立感染研 ³⁾筑波大院・人間総合
- P-077 ***Staphylococcus aureus* 由来 IsdH の NEAT ドメインの X 線結晶構造解析とヘム結合**
渡邊正人¹⁾、田中良和^{1), 2)}、末永亜由子¹⁾、黒田誠³⁾、姚 閔⁴⁾、渡邊信久⁵⁾、太田敏子⁶⁾、田中勲⁴⁾、津本浩平¹⁾
¹⁾東大・院新領域、²⁾北大・創成、³⁾感染研、⁴⁾北大・生命科学院、⁵⁾名大・院工、⁶⁾筑波大・基礎医
- P/0-078 ***Staphylococcus aureus* 由来細胞表面層巨大蛋白質 Ehb の立体構造解析**
田中良和^{1), 2), 3)}、坂本壮²⁾、黒田誠⁴⁾、郷田秀一郎⁵⁾、高 永貴³⁾、津本浩平²⁾、柊 弓弦⁶⁾、姚 閔³⁾、渡邊信久^{3), 7)}、太田敏子⁸⁾、田中勲³⁾
¹⁾北大・創成、²⁾東大・院新領域、³⁾北大・生命科学院、⁴⁾感染研、⁵⁾長崎大、⁶⁾関西医大、⁷⁾名大・院工、⁸⁾筑波大・基礎医
- P/0-079 **“21 番目のアミノ酸” セレノシステインを取り込むための分子基盤**
尾瀬 農之^{1, 3)}、Linda Rasubala¹⁾、神田 大輔¹⁾、Nicolas Soler²⁾、吉澤 聡子²⁾、Dominique Fourmy²⁾、前仲 勝実¹⁾
¹⁾九大・生医研 ²⁾IGSN-CNRS ³⁾北大・生命科学院
- P-080 **TLR4 の細胞表面発現における MD-2 の重要性**
西谷千明^{1), 3)} 高橋素子^{1), 3)} 光澤博昭^{1), 3)} 清水健之^{1), 3)} 有木茂^{1), 3)} 松嶋範男²⁾ 黒木由夫^{1), 3)}
¹⁾札幌医大・医・医化学 ²⁾札幌医大・保健医療 ³⁾CREST
- P-081 **肺サーファクタント蛋白質 D によるリポ多糖惹起炎症反応の抑制**
山添雅己^{1) 2) 3)} 有木茂^{1) 3)} 澤田格^{1) 2) 3)} 西谷千明^{1) 3)} 清水健之^{1) 3)} 高橋素子^{1) 3)} 高橋弘毅²⁾ 黒木由夫^{1) 3)}
¹⁾札幌医大 医化学 ²⁾札幌医大 第三内科 ³⁾CREST
- P/0-082 **肺コレクチンは非定型抗酸菌に結合し菌体凝集を惹起する**
有木 茂¹⁾、澤田 格¹⁾、賀佐 伸省²⁾、藤井 暢弘³⁾、山添 雅己¹⁾、清水 健之¹⁾、西谷 千明¹⁾、高橋 素子¹⁾、黒木 由夫¹⁾
¹⁾札幌医大・医・医化学 ²⁾札幌医大・医・化学 ³⁾札幌医大・医・微生物学
- P/0-083 **ヒト血管内皮細胞では酵母ファゴサイトーシスは CL-P1 が担う**
張 成宰、大谷 克城、森 健一郎、本村 亘、福澤 純、吉田 逸朗、若宮 伸隆
旭川医大・微生物学
- P-084 **ウンパチイソギンチャク毒による急性腎不全症例の経験と抽出毒による腎内皮障害と補体の関与**
水野正司¹⁻³⁾、野崎真敏⁴⁾、鈴木則彦³⁾、西川和裕⁵⁾、Morgan BP³⁾、伊藤恭彦^{1, 2)}、松尾清一¹⁾
¹⁾名古屋大学大学院大学腎臓内科、²⁾同 腎不全治療システム学講座、³⁾カーディフ大学医学部医学生化学&免疫学講座、⁴⁾(株)先端医学生物科学研究所、⁵⁾愛知医大腎臓内科

- P/0-085 **腹腔内マクロファージによるオリゴマンノース被覆リポソームのファゴサイトーシスには補体 C3 のオプソニン化が重要である。**
 阿辺 雄¹⁾ 野陳 理¹⁾ 梶原 敏充²⁾ 黒田 泰弘²⁾ 横山 直明³⁾ 小島直也¹⁾²⁾
¹⁾東海大・工 ²⁾東海大・糖鎖科学研 ³⁾帯広畜産大・原虫病研究センター
- P-086 **MASP1/3 欠損マウスにおける補体第二経路の異常**
 高橋 実、岩城大輔、遠藤雄一、藤田禎三
 福島県立医科大学医学部免疫学講座
- P/0-087 **コイ補体成分 C7 アイソタイプのクローニングと発現解析**
 赤星 佐和、辻倉 正和、杉本 智軌、中尾 実樹
 九州大院・農
- P/0-088 **黄斑変性カニクイザルにおける補体関連分子の解析**
 岩田 岳¹⁾、池 在龍¹⁾、関 麻子¹⁾、吉田統彦¹⁾、三宅養三¹⁾、溝田 淳³⁾、鈴木通弘³⁾、寺尾恵治⁴⁾、吉川泰弘⁵⁾
¹⁾ 独立行政法人国立病院機構東京医療センター臨床研究センター（感覚器センター）、²⁾ 順天堂大学医学部浦安病院眼科、³⁾ 社団法人予防衛生協会、⁴⁾ 独立行政法人医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター、⁵⁾ 東京大学農学生命科学研究科
- P-089 **Enhancements of alternative pathway activation and opsonophagocytosis by thrombin**
 Min Jin Gi¹⁾, Youko Aoyagi²⁾, Shinji Takahashi²⁾, Young-Je, Cho³⁾, Misao Matsushita¹⁾
¹⁾ Department of Applied Biochemistry, Tokai University, ²⁾ Division of Microbiology, Joshi-Eiyoh University, ³⁾ Department of Food Science and Technology, Pukyong National University, Busan, Korea
- P-090 **MASP-3 の活性化と機能の解析**
 岩城大輔¹⁾、菅野和子¹⁾、高橋 実¹⁾、遠藤雄一¹⁾、松下 操²⁾、藤田禎三¹⁾
¹⁾ 福島県立医科大学・医・免疫、²⁾ 東海大学・工・生命化学
- P-091 **補体 C1s 欠損症の遺伝子解析：新たなミッセンス変異を含む C1s 異常の一家系**
 中澤なおみ、遠藤雄一、菅野和子、阿部克昭¹⁾、星野直¹⁾、藤田禎三
 福島県立医大・医・免疫、¹⁾ 千葉県こども病院・感染症科
- P-092 **植物多糖体 C-UPⅢの産卵鶏の産卵率に対する影響**
 吉田 哲
 オリジナル・イメージ株式会社
- P-093 **実験的ラット子宮内膜症モデルに及ぼすディーゼル排ガス曝露の影響**
 梅澤雅和¹⁾²⁾ 田中奈央美¹⁾²⁾ 久藤清香¹⁾²⁾ 坂田千佳¹⁾²⁾ 田畑真佐子²⁾ 武田健²⁾ 井原智美¹⁾ 菅又昌雄¹⁾
¹⁾ 栃木臨床病理研 ²⁾ 東京理科大・薬
- P-094 **冬虫夏草 *Cordyceps sinensis* による免疫賦活化機序の解析：DNA による樹状細胞の活性化**
 阿部 讓¹⁾、Gang Xiao¹⁾、宮里明子²⁾、位田 剣³⁾、丹野大樹¹⁾、田中三鈴¹⁾、石井恵子¹⁾、川上和義¹⁾
 1) 東北大学大学院医学系研究科基礎検査医科学領域 感染分子病態解析学分野、2) 埼玉医科大学国際医療センター 感染症科・感染制御科、3) 東北大学大学院医学系研究科感染制御・検査診断学分野
- P-095 **パン酵母グルコポリサッカライド (GPS) の自然免疫に対する効果—経口摂取による好中球の貪食能活性化—**
 梶本庸右¹⁾、八幡麻里子¹⁾、大櫃俊雄¹⁾、三田村圭二²⁾
¹⁾ 日本バイオセラ株式会社 ²⁾ 昭和大学
- P/0-096 **四塩化炭素肝障害マウスにおいて生体防護シグナル分子の産生を誘導する糖脂質とその自然免疫賦活化活性**
 相良佳男 門楯宏志 上田ゆかり 平良全栄
 徳島文理大・薬
- P-097 **免疫細胞 BAK 療法は何故副作用が無く、延命効果があるか**
 海老名 卓三郎
 (財) 仙台微生物研究所

- P-098 **川崎病等花粉惹起アレルギー疾患患者、パーキンソン病患者、難聴者における、生体防御物質メラニンの合成・代謝系、メラノサイト活動系の脆弱な活性度－疫学研究結果に基づく実験医学切り込み法の新たな導入の先導－**
粟屋 昭^{1, 2, 3}
¹皮膚科学疫学研究所、²(独)理研横浜研究所、³(独)科学技術振興機構
- P-099 **可視・近赤外光を用いた鼻部体温計測：インフルエンザウイルス A 型・B 型感染小児患者の比較**
作道章一¹⁾ 馬場宏一²⁾ 小林孝徳¹⁾ 上畑滋¹⁾ 加藤由紀子¹⁾ 杉本温子¹⁾ 塚本恵美¹⁾ 生田和良¹⁾
¹⁾阪大・微研 ²⁾ばば小児科
- P-100 **実験的自己免疫性脳脊髄炎における Tyk2 の役割**
小山田亜希子¹⁾、池辺日王里¹⁾、逸見百江¹⁾、中山敬一²⁾、吉開泰信¹⁾、山田久方¹⁾
¹⁾九州大学生体防御医学研究所 感染制御学分野、²⁾九州大学生体防御医学研究所 分子発現制御学分野
- P-101 **C 型慢性肝疾患患者に対する極少量 IFN 投与の検討**
仲島信也
仲島クリニック、大阪市立大学肝疾患予防医学研究講座
- P/0-102 **発作性夜間血色素尿症患者における HMGA2 の発現について**
村上 良子¹⁾、太田 里永子²⁾、井上 徳光³⁾、木下 タロウ^{1), 4)}
¹⁾大阪大・微研、²⁾名古屋大院・医、³⁾大阪成人病センター研究所、⁴⁾大阪大・免疫学フロンティア研究センター
- P-103 **C5a を標的とした補体阻害ペプチド AcPepA 導入による移植後早期膵島障害の制御**
戸子台和哲¹⁾ 後藤昌史¹⁾²⁾ 猪村武弘²⁾ 黒川良望³⁾ 岡田則子⁴⁾ 岡田秀親⁴⁾⁵⁾ 里見進¹⁾
¹⁾東北大学先進外科 ²⁾東北大学国際高等研究教育機構 ³⁾東北大学未来医工学治療開発センター ⁴⁾名古屋市立大学医学部免疫学 ⁵⁾医療法人福祉村病院長寿医学研究所
- P/0-104 **カビ毒による白血球遊走阻害とメカニズム解析**
寺川貴裕、土屋朋子、一杉規子、山内明、金ヶ寄史朗
(株)エフェクター細胞研究所
- P/0-105 **サイトカイン固定化マイクロビーズを用いた局所シグナル伝達機構の解析**
荒津史裕¹⁾ 原田伊知郎¹⁾²⁾ 田川陽一¹⁾²⁾ 赤池敏宏¹⁾
¹⁾東工大・生命理工 ²⁾科学技術振興機構 さきがけ
- P/0-106 **改良型 NF- κ B 活性検出システムの構築**
築山忠維 松田真由子 畠山鎮次
北海道大学大学院・医学研究科・医化学分野
- P/0-107 **新規 EBV-BAC システムによる B リンパ芽球様細胞株における効率の良い遺伝子発現法**
神田 輝¹⁾ 高田 賢蔵²⁾
北海道大・遺制研・¹⁾附属ウイルスベクター開発センター・²⁾癌ウイルス